

製品名: CLIC4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84067**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	29 kDa

抗原情報

遺伝子名	CLIC4
別名	Chloride intracellular channel 4; Clic4; CLIC4L; HUH1; MC3S5; mtCLIC; p64H1;;CLIC4
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9Y696
免疫原	ヒト CLIC4 由来の合成ペプチド

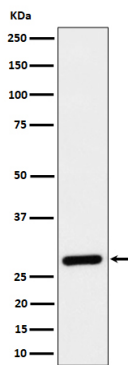
背景

膜に挿入され、選択性の低いイオンチャンネルを形成し、塩化物イオンも輸送する可能性がある。チャンネルの活性は pH に依存する。膜挿入は酸化還元制御を受けているようで、酸化条件下でのみ起こる可能性がある。HRH3 の細胞表面発現を促進する。血管新生や、有糸分裂および細胞質分裂中の頂端側-基底側膜極性の維持といった、代替的な細胞機能も有する。また、内皮細胞の増殖を促進し、内皮細胞の形態形成を制御する可能性もある。

研究分野

-

画像データ



293 細胞溶解物中の CLIC4 発現のウェスタン ブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

